



さんびょう 三錨Ⅶ

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 8

平成30年 6月29日

今年は、6月から真夏のような蒸し暑さが続きます。外で遊んで帰ってきた子ども達は、しばらく汗が止まらない様子。でも、プールからは、気持ちよさそうな歓声が、毎時間のよう聞こえてきます。早いもので、来週はもう7月。暑い中ですが、もうひとがんばり。1学期のまとめを、しっかりしていきたいと思います。



◇歯みがき指導

6月に入り、養護教諭による「歯みがき指導」が、全校児童を対象に行われました。今回は、「歯の2大疾患（歯周病とむし歯）を予防しよう」というのがテーマ。まず、それらの共通の原因となっているのが「歯垢（しこう）」だということを学びました。そして、専用の液で歯を染め、うがいをすると、最近の新しい歯垢が残っている部分が赤く染まり、前からずっとついていた古い歯垢は青く染まります。染まったところを鏡で見ながら、歯型のイラストに赤と青で塗りました。その後は歯みがき。正しいブラッシングのコツに気を付けながら、特に青く染まった所を念入りに磨きました。これで、普段自分の歯みがきで不十分な部分がよくわかったと思います。

この学習を生かして、6月18日（月）～29日（金）まで、「お昼の歯みがきがんばり2週間」と題して、給食後に全校で歯みがきを実施しました。せっかく身に付いた習慣を、これからは是非継続してほしいと思います。



歯みがき指導



歯垢が染まる



ブラッシング練習



給食後の歯みがき

◇地域とともに

6月に2回、地域の方や、学校・園関係者の方に来校いただき、子ども達の様子を見ていただく機会がありました。

【第2回「三錨CS」会議】



授業参観

6月19日（火）、第2回となる「三錨CS」（富洲原小・中学校コミュニティスクール）の会議が本校で行われました。この日は授業参観もあったので、12名の委員のみなさんに加え、2名の連合自治会長にも参加をいただきました。始まって、まずは3限目の授業を参観。1年生から順に全学級を回り、授業の様子を見ていただきました。基本的には、時間割に沿った、普段のままの授業です。いろいろな教科がありましたが、子ども達はいつものようにがんばっていました。そんな中、保・幼の園長先生や、北部児童館の職員の方、また毎朝「見守り隊」としてお世話になっている方を見かけると、うれしそうな表情を見せる子もいました。

参観後、視聴覚室で協議を行いました。まず、小・中学校校長から学校の現状報告。続いて、それに対する質疑や、授業参観の感想などをお聞かせいただきました。

お忙しい中お集まりいただき、貴重なご意見をたくさんいただきありがとうございます。

た。次回「三錨CS」は、7月9日に富洲原中学校で行われる予定です。

【「学びの一体化」学校公開】

6月20日（水）「学びの一体化」富洲原小学校公開授業が行われました。「学びの一体化」とは、中学校区を単位として、子ども達の健やかな成長に向け、市立の保・幼・小・中が交流・連携を図っていく取組です。四日市市では、全ての中学校区で実施されています。富洲原中学校区は、15年前に市内最初のモデル校の一つに応募してから、「校区の連携15年間を見通して基礎学力を身につける指導のあり方」をテーマに、実践が積み上げられてきました。年間を通して、上の学校へのなめらかな接続や、職員同士の交流など、様々な取組が予定されています。この日の小学校公開授業もその一つです。保・幼・中の先生方が来校され、5限目の授業を参観していただきました。保・幼の先生方は、卒園した子ども達の成長した様子を、うれしそうにご覧いただいたようです。中学校の先生方は、やがて入学する子ども達の様子を、関心を持ってご覧いただきました。

参観後は、学年別に研修会を持ち、意見や情報交換を行いました。最後に、視聴覚室へ集合して全体会開催。当日来校いただいた、3名の市教育委員会の指導主事の先生から、感想や指導・助言をいただきました。富洲原地区は、中学校区に1つずつの保・幼・小・中が近隣にあり、まとまりやすい環境にあります。また、本年度からコミュニティスクールも小中一体の取組が始まりました。学校・園はもちろん、地域とも連携を図りながら、更なる一体化を目指して取り組んでいきたいと考えています。



授業参観



学年別研修会



全体会

◇「不審者対応訓練」



校長講話

6月26日（火）9：40から「不審者対応訓練」が行われました。想定は、「不審者が、犬走りから2年1組（北校舎1階）に侵入し、児童に襲いかかりそうになった」というものです。まずは、担任の指示で、現場近くにいた児童を校庭に逃がし、職員室へ連絡。全校放送で運動場への避難を呼びかけ、応援の職員が、刺す股などの道具を持って駆け付けました。放送を聞いた担任は、安全な経路での避難を指示。また一部の職員は、現場へ向かい不審者対応の応援。そうこうするうちに、運動場のバックネット前に全校児童が集合、全員の無事を確認しました。

集合した後、校長からは、先日の大阪での地震を受けて、校舎内や登下校途中で地震に襲われた時の対応について、改めて話をしました。特に、通学路では、ブロック塀などの倒れそうな物、また落ちてきそうな物から離れることを確認しました。

暑い時期なので、全校児童が教室へ戻ってから、本日の訓練に参加していただいた四日市北警察署生活安全課の八鳥係長から、全校放送にて講評と指導をしていただきました。何か事件や災害が起こった時は、放送や先生の話をよく聞くことの大切さについて。また、「いかのおすし」の合言葉で、不審者への対応の仕方についても、分かりやすくお話をいただきました。

後からわかりましたが、ちょうどこの日に、富山市で凶悪な事件が発生しました。奪われたピストルで、小学校の警備員の方も亡くなるという恐ろしい事件でした。ピストルまでは想定外でした。学校の危機管理体制について、改めて考えさせられる事件でした。また、通学路のブロック塀等の危険個所については、地域やPTAの方のご協力も得て、調査・確認をしたいと思っています。改めてお知らせしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

八鳥係長の講話

